

ウクライナ難民支援「松永白洲記念館書道色紙体験 ・第二回」

活動会場	藤井寺市古民家登録 松永白洲記念館	報告者	大川
活動月日	2025 年 9 月 28 日 AM11:00~PM14:00	推進リーダー	村松、大川
スタッフ名	村松、奥田、森下、大川 記念館スタッフ館長、講師 2 名事務局、		
参加者31 名	ウクライナ受講生 19 名 ネット大阪スタッフ 4 名 記念館スタッフ 5 名 SA 藤井寺アシスト 3 名		

- ① SA ネット大阪理事長 白洲記念館長挨拶 講師紹介 完成色紙、説明
- ② 書道研修会。墨、硯、筆説明後、各自実習 11:20~12:00 文字＝平和 松永講師
- ③ 食事&館内資料説明江戸時代の大和川・近鉄最初の鉄道の歴史。
12:00~13:00 松永館長
- ④ 一筆書。絵の具説明 花＝国花・ひまわり 13:00~13:40 古野講師
- ⑤ 研修会アンケート・ミーティング 14:00~14:20 終了ご記念写真 ご解散
- ⑥ ウクライナ参加者 19 名



◆書道教室 松永講師

- ① ウクライナに平和を「平和」を、議題作品
- ② ウクライナ語で好きな言葉例「自由」「愛」サンプル有り。
- ③ ＊時間のある人、2 回目的人是個人的に追加可 アシスタント付く
- ④ 製作ツール 墨、硯、筆（強弱）説明 2 人 1 つ
- ⑤ 墨を乾かし時間置き作品制作 アシスタント付く
漢字の上手な人も居たが筆の強弱カスレが難しそう
日本人も筆を使う環境が少なくなった・・・



◆松永白州記念館 松永講師

- ① 日本木造建築、木と紙（障子・ふすま）基本設計)
- ② 日本の書道展示品 書道の道具 見本
- ③ 近鉄最初の鉄道の歴史。近鉄前身河陽鉄道大和川陸橋（イギリス）蒸気機関車（ブルガリア）
- ④ 大和川付け替え古文書、現物見て貰う
・感想、質問有り。



◆昼食&松長白洲記念館説明

- ・受講者には、おむすび🍱2個、受講者確認後プレゼン。
「セブンイレブン&11、万代で購入」美味しい好評。
- ・スタッフは持参



◆一筆書き教室&篆刻 古野講師

- ① テーマウクライナの花「ひまわり」
- ② 一筆書。絵の具説明
- ③ 花びら、葉っぱ、花芯、葉脈（葉の筋）の書き方説明
（アシスタントには、事前リハーサル実施）
- ④ 国の花「ひまわり」を描きながら、祖国を想う視線を垣間見る
- ⑤ リピーターの人も居てお互いに教えながら楽しんでくれた。



◆研修後のミーティング

・体験アンケート口頭

- ・「サプライズ」 受講者（リピーター）から「ひまわり」デザインを、モデルにした「デザインフラワー」を、松永館長に感謝のプレゼントの場面有り思わず拍手！
- ・古い日本の家屋に質問、興味、関心を示す。
- ・作品色紙の完成に、全員謝礼。
- ・日本おむすび🍱、シンプルで美味しかった。

所 感 「まさかの坂」

・英語通訳清水さんを依頼。理解できる語学アンケート調査

- ・英語理解者1人。ロシア語が大半。日本語理解5人*シナリオは＝英語理解できずダメ
- ・（まさかの坂1）「マリアに日本語をウクライナ」翻訳して貰う
マリア高校生 前回の盆踊り知り合いになった人急遽お土産渡す
- ・（まさかの坂2）阿部野橋集合遅刻者発生 すべてのスタート遅れ、30分スタート
研修会参加しない3人の子ども予期せぬいたずら、危ない行動で事業短縮要望（スタッフから）今後の課題
- ・漢字の」上手な人がいる。聞くと来日5年経つので学校で習う様・通訳マリアは中学校の時書道部に居たとかなるほど。5年間で日本語理解者が多いのは成るほどと解った。
- ・ウクライナの国花「ひまわりは」イタリア映画「ひまわり」ソフアーローレン主演 ウクライナのひまわりだった。（ソ連、フランス、アメリカ、イタリア合同作品）ウクライナソ連の統治下米ソ冷戦の中の反戦映画。
- ・名刺交換した、「ナタリヤ」さんは、社団法人「どどむ」の共同創設者
避難民の困りごと相談コーナを持っている。

大川

イベント参加者総勢 26 名記念写真



ウクライナの 人たちが 松永白洲 記念館を訪問

9月28日、松永白洲記念館(藤井寺市船橋)にウクライナからの避難民15人が訪れ、書道と楽しい一筆を体験した。これはウクライナ避難民支援を行うNPO法人シルバ

ーアドバイザーネットワーク大阪の活動の一つで、同記念館を訪れるのは2回目。企画したのはシルバアドバイザー1 藤井寺代表、大川正彦さん(84歳、ネット大阪役員)は「母国を離れ避難中の人たちの孤独感を少しでも和らげ、また日本文化を知って欲しい。協力頂いた同記念館の松永明館長やスタッフのみなさんのおかげで、今回も大好評だった。

た」と話した。この日参加者たちはウクライナ国花のひまわりの絵を描き、筆で「平和」「愛」の文字を書いた色紙を完成させた。



ミニコミ紙「ふれあい」取材「ウクライナ支援」

藤井寺市、羽曳野市の新聞 5 紙に折り込み主要駅ラックにも展示毎月 1 回発行
ウクライナ難民支援企画の中、白洲記念館 2 回目に取材に来た原稿